

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2014-100538(P2014-100538A)

【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2013-218647(P2013-218647)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月23日(2014.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貨幣を受け付けて該受け付けた貨幣を識別する貨幣識別手段と、該貨幣識別手段にて識別された貨幣を収納する貨幣収納部と、を有する貨幣処理装置と、

複数の前記貨幣処理装置と通信可能な管理装置と、を備え、

前記複数の貨幣処理装置は、各々の間でも通信可能な遊技用システムであって、

前記管理装置は、

前記複数の貨幣処理装置の各々について何れのグループに属させるかの割り振りをするためのグループ設定手段と、

各貨幣処理装置が属するグループを特定可能な情報であるグループ特定情報を、当該各貨幣処理装置に対して送信するグループ特定情報送信手段と、をさらに有し、

前記貨幣処理装置は、

前記グループ特定情報送信手段から送信されたグループ特定情報を受信するグループ特定情報受信手段と、

該グループ特定情報受信手段にて受信したグループ特定情報を記憶するグループ特定情報記憶手段と、

前記貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する回収要求信号を受信する回収要求信号受信手段と、

該回収要求信号受信手段にて回収要求信号を受信したことに基づいて、前記グループ特定情報記憶手段にて記憶しているグループ特定情報を含むグループ回収要求信号を、他の複数の貨幣処理装置に対して送信するグループ回収要求信号送信手段と、

該グループ回収要求信号送信手段から送信されたグループ回収要求信号を受信するグループ回収要求信号受信手段と、

該グループ回収要求信号受信手段にてグループ回収要求信号を受信したことに基づいて、当該グループ回収要求信号に含まれるグループ特定情報と前記グループ特定情報記憶手段にて記憶しているグループ特定情報とが一致するか否かを判定するグループ特定情報判定手段と、

該グループ特定情報判定手段にてグループ特定情報が一致すると判定されたことを条件として、前記貨幣収納部に収納されている貨幣を回収可能な状態とする回収可能処理手段と、をさらに有することを特徴とする遊技用システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載した遊技用システムであって、

前記回収要求信号には、該回収要求信号を受信した貨幣処理装置の貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する個別回収要求信号と、該回収要求信号を受信した貨幣処理装置以外の他の貨幣処理装置の貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する一斉回収要求信号とがあり、

前記グループ回収要求信号送信手段は、前記回収要求信号受信手段にて一斉回収要求信号を受信したことに基づいて、前記グループ回収要求信号を他の複数の貨幣処理装置に対して送信することを特徴とする遊技用システム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載した遊技用システムであって、

前記回収要求信号受信手段は、前記貨幣を回収する権限を有する遊技場の店員により操作される携帯端末から、前記回収要求信号を受信し、

前記貨幣処理装置は、

前記店員より所定の認証情報の入力を受け付ける前記携帯端末から、該入力を受け付けた認証情報を受信する認証情報受信手段と、

該認証情報受信手段にて受信した認証情報に基づいて認証を行う認証手段と、をさらに有し、

前記グループ回収要求信号送信手段は、該認証手段にて認証がされたことをさらなる条件として、前記グループ回収要求信号を他の複数の貨幣処理装置に対して送信することを特徴とする遊技用システム。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載した遊技用システムであって、

前記貨幣処理装置は、

前記回収可能処理手段にて貨幣を回収可能な状態とされたことに基づいて計時を開始する計時手段と、

該計時手段による計時時間が予め定められた満了時間に達したことに基づいて計時満了と判定する計時満了判定手段と、

該計時満了判定手段にて計時満了と判定したことに基づいて、前記貨幣を回収可能な状態が維持されているか否か、及び、貨幣が回収されているか否かを判定する回収不良判定手段と、

該回収不良判定手段にて、貨幣を回収可能な状態が維持されている、又は、貨幣が回収されていないと判定されたことを条件として報知を行う回収不良報知手段と、をさらに有することを特徴とする遊技用システム。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載した遊技用システムであって、

前記貨幣処理装置は、

遊技機に対応して設けられ、

該対応する遊技機での遊技により遊技者が獲得した遊技媒体を計数して取り込む計数手段と、

該計数手段にて計数した計数遊技媒体数を加算記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数を表示する表示手段と、

前記記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数の範囲内の遊技媒体を払い出すための払出手順を行なう払出手段と、

該払出手段により払い出された遊技媒体数を、前記記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数から減算更新する減算更新手段と、

前記管理装置から営業終了に際して送信される営業終了時処理要求を受信する終了時処理要求受信手段と、

該終了時処理要求受信手段にて前記営業終了時処理要求を受信したことに基づいて、前記記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数が存在するときに、該計数遊技媒体数を無効

とするための無効化処理を行う無効化処理手段と、をさらに有することを特徴とする遊技用システム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載した遊技用システムであって、

前記貨幣処理装置は、

前記計数遊技媒体数を特定可能な計数遊技媒体数特定情報が記録された計数記録媒体を排出する排出処理と、前記計数記録媒体を受け付けて、該受け付けた計数記録媒体に記録されている前記計数遊技媒体数特定情報から特定した計数遊技媒体数を前記記憶手段に記憶する記憶処理とを実行する計数記録媒体処理手段と、

該計数記録媒体処理手段にて受付中の計数記録媒体に記録されている計数遊技媒体数特定情報から特定される計数遊技媒体数が存在するか否かを判定する計数遊技媒体数判定手段と、をさらに有し、

前記無効化処理手段は、該計数遊技媒体数判定手段にて計数遊技媒体数が存在すると判定されたことに基づいて、前記計数記録媒体処理手段にて受付中の計数記録媒体に記録されている計数遊技媒体数特定情報から特定される計数遊技媒体数を無効化する記録無効化処理を含む前記無効化処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

まず手段 1 に係る発明は、

貨幣（紙幣）を受け付けて該受け付けた貨幣を識別する貨幣識別手段と、該貨幣識別手段にて識別された貨幣を収納する貨幣収納部と、を有する貨幣処理装置（紙幣識別ユニット 321 を備えるカードユニット 3）と、

複数の前記貨幣処理装置と通信可能な管理装置（システムコントローラ 100）と、を備え、

前記複数の貨幣処理装置は、各々の間でも通信可能な遊技用システムであって、

前記管理装置は、

前記複数の貨幣処理装置の各々について何れのグループに属させるかの割り振りをするためのグループ設定手段（グループ設定画面を表示する表示装置 107）と、

各貨幣処理装置が属するグループを特定可能な情報であるグループ特定情報（グループ ID）を、当該各貨幣処理装置に対して送信するグループ特定情報送信手段（S103 でグループ ID を送信する処理を行う CPU102 及び通信部 109）と、をさらに有し、

前記貨幣処理装置は、

前記グループ特定情報送信手段から送信されたグループ特定情報を受信するグループ特定情報受信手段（通信部 334）と、

該グループ特定情報受信手段にて受信したグループ特定情報を記憶するグループ特定情報記憶手段（RAM328b）と、

前記貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する回収要求信号を受信する回収要求信号受信手段（IR 受光ユニット 315）と、

該回収要求信号受信手段にて回収要求信号を受信したこと（S212 で回収要求を受信したこと）に基づいて、前記グループ特定情報記憶手段にて記憶しているグループ特定情報を含むグループ回収要求信号を、他の複数の貨幣処理装置に対して送信するグループ回収要求信号送信手段（S217 又は S218 でグループ ID を送信する制御ユニット 328 及び通信部 334）と、

該グループ回収要求信号送信手段から送信されたグループ回収要求信号を受信するグループ回収要求信号受信手段（通信部 334）と、

該グループ回収要求信号受信手段にてグループ回収要求信号を受信したこと（S202

でグループ回収要求を受信したこと)に基づいて、当該グループ回収要求信号に含まれるグループ特定情報と前記グループ特定情報記憶手段にて記憶しているグループ特定情報とが一致するか否かを判定するグループ特定情報判定手段(S219の処理を行う制御ユニット328)と、

該グループ特定情報判定手段にてグループ特定情報が一致すると判定されたことを条件として、前記貨幣収納部に収納されている貨幣を回収可能な状態とする回収可能処理手段(S224又はS231の処理を行う制御ユニット328)と、をさらに有することを特徴とする遊技用システムである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この手段1に係る遊技用システムによれば、管理装置において、各貨幣処理装置が属するグループが設定されて、該設定されたグループのグループ特定情報が当該各貨幣処理装置に対して送信され、貨幣処理装置において、該グループ特定情報が記憶されるので、各貨幣処理装置が属するグループを確実に設定することができる。また貨幣処理装置において、回収要求信号を受信すると、前記記憶しているグループ特定情報を含むグループ回収要求信号が他の複数の貨幣処理装置に対して送信され、当該他の貨幣処理装置において、該グループ回収要求信号に含まれるグループ特定情報と前記記憶しているグループ特定情報とが一致すると判定されると、貨幣が回収可能な状態になるので、前記設定された各グループに属する各貨幣処理装置から貨幣を回収することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また手段2に係る発明は、

手段1に記載した遊技用システムであって、

前記回収要求信号には、該回収要求信号を受信した貨幣処理装置(カードユニット3)の貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する個別回収要求信号と、該回収要求信号を受信した貨幣処理装置以外の他の貨幣処理装置の貨幣収納部に収納されている貨幣の回収を要求する一斉回収要求信号とがあり、

前記グループ回収要求信号送信手段(S217又はS218の処理を行う制御ユニット328)は、前記回収要求信号受信手段にて一斉回収要求信号を受信したこと(S215で一斉回収要求を受信したと判定されたこと)に基づいて、前記グループ回収要求信号を他の貨幣処理装置に対して送信することを特徴とする遊技用システムである。